

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55 °C ~ 85 °C (注1)	保存温度範囲	-10 °C ~ 60 °C (注2)	
	使用湿度範囲	相対湿度85%以下 (但し、結露の無いこと)	保存湿度範囲	相対湿度85%以下 (注2) (但し、結露の無いこと)	
	電 圧	AC 200 V	適合ケーブルサイズ	—	
	電 流	1 A	適合ケーブル径	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	15 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	100 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 20 mΩ以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 方向各 2 時間試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2 °C, 湿度 90 ~ 95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 5 ~ 35 → 85 → 5 ~ 35 °C 時間 30 → 10 ~ 15 → 30 → 10 ~ 15 分 を 5 サイクル試験する。		○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	①接触抵抗: 20 mΩ以下	○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm, 96 時間放置する。 (試験規格: JEIDA 39)	②はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだ槽の場合: はんだ温度 260 ± 5 °C 浸漬時間 10 ± 1 秒間 はんだごての場合: こて温度 360 °C はんだ付け時間 5 秒以内 (JISC5402-12-4, JISC60068-2-20)	外観の変形及び端子等に著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245 ± 3 °C, 浸漬時間 3 秒間のはんだ付けを行う。			
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
▲	1	DIS-F-00004353	HR. NAGAYASU	HT. YAMAGUCHI	20190301
備考			承認	NH. NAKATA	20170328
注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。			検 図	HT. YAMAGUCHI	20170328
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402 (IEC-60512)を適用している。			担 当	HR. NAGAYASU	20170327
誤記訂正 ▲			製 図	HR. NAGAYASU	20170327
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLGX-375930-00-00	
HRS	製品規格表		製品名	A3C-*P-2DSA (30)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL621	▲ 1/1